

道の駅とぎ海街道周辺再整備事業 リニューアル基本計画



現状の問題点

地域資源を十分に活かせていない

- ・道の駅などの施設から増穂浦海岸を臨むことができない
- ・山海の幸・桜貝等の地域資源が全国的にあまり知られていない
- ・世界一長いベンチの利用は、道の駅周辺に偏っている
- ・宿泊ができないため、観光客は日帰り・通過型が多い

地域住民が利用できる機能がない

- ・観光客重視の施設で、地域住民が利用できる機能がない
- ・平日や冬季は観光利用が減少するため、施設利用率が低くなる

観光客の記憶に残りにくい

- ・海を見てからお土産を買うなど、よくある体験に留まり、観光客の記憶に残りにくい

エリアに求められる機能

地域資源を活かした観光機能

- ・道の駅などの施設から増穂浦を臨むことができるようにする
- ・山海の幸・桜貝等の魅力ある地域資源を最大限に活かす
- ・道の駅周辺エリアの回遊性を向上させる
- ・宿泊機能を充実させることで、滞在型観光ができるようにする

地域住民も利用できる交流機能

- ・観光客だけでなく、地域住民も日常的に利用できる機能を導入する

観光客の記憶に残る体験機能

- ・観光客の記憶に残るような話題性のある富来ならではの体験を充実させる

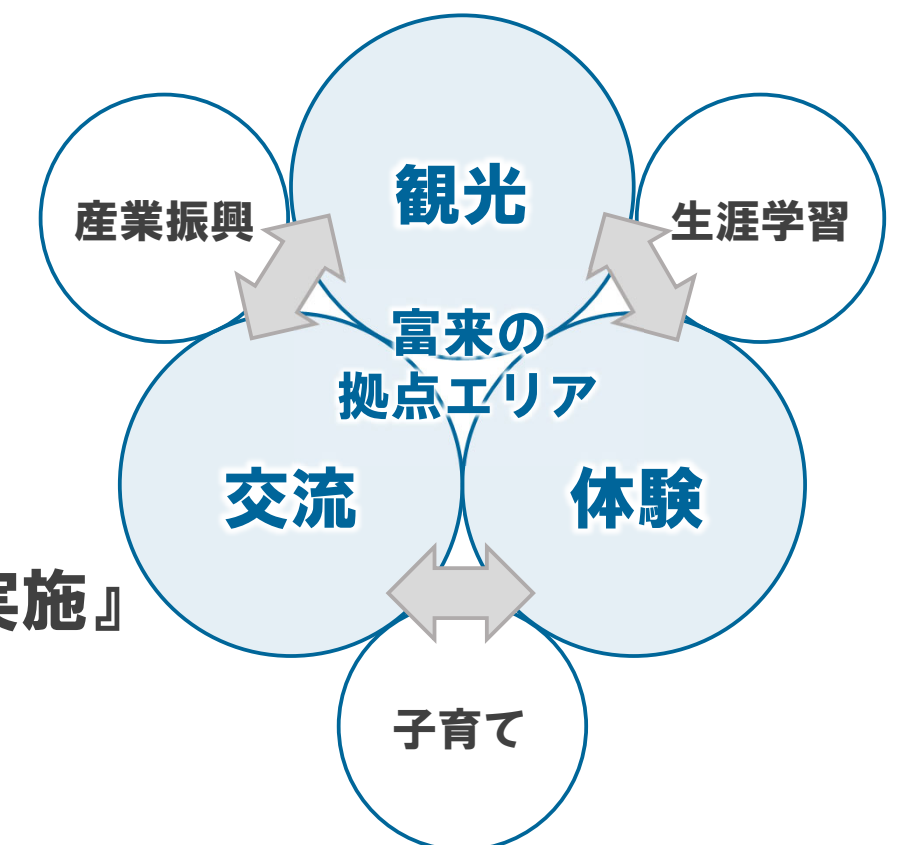
コンセプト



目指すエリア像

『観光・交流・体験』の機能を核として、
『産業振興・生涯学習・子育て』にも資する、
富来の魅力を最大限に活かした拠点エリアを目指します

『能登半島絶景海道の整備』や『のとSDGsトレイル（仮称）の実施』
といった石川県の取組も踏まえてエリアを形成し、
能登半島の周遊観光の拠点を目指します



道の駅

■概要

道の駅は**観光・交流・体験の核となる拠点施設**です。



市場・レストラン



観光情報案内所



図書カフェ



休憩空間※



屋内遊び場



マリナクティビティ※



海辺でサイクリング※



RVパーク※



防災備蓄倉庫

※生成AIを使用

■主な機能・施設

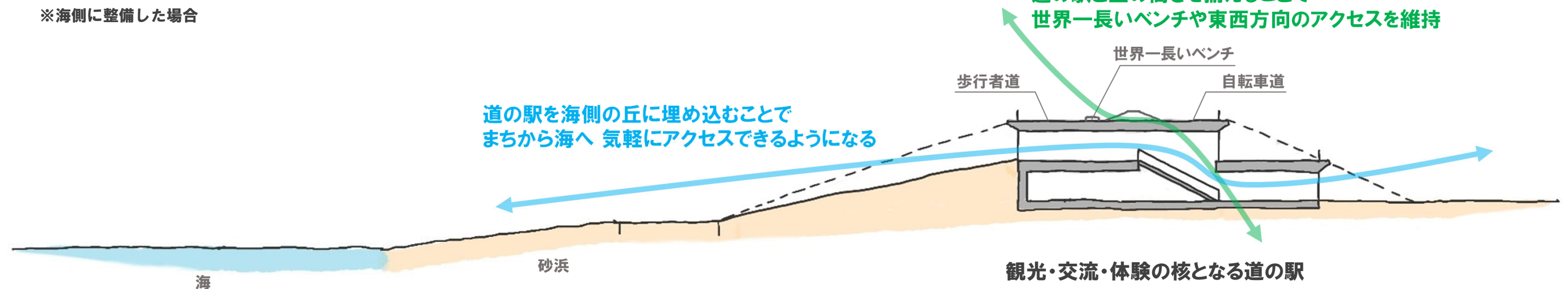
- ・特産品を取り揃えた市場
- ・富来の味覚を堪能できるレストラン
- ・観光情報案内所
- ・勉強やワーケーションなどにも利用できる図書カフェ
- ・リラックスできる休憩空間
- ・全天候型の屋内遊び場
- ・マリナクティビティの貸出（SUP・カヌー等）
- ・レンタサイクル
- ・RVパーク
- ・シャワー・更衣室
- ・防災機能（防災備蓄倉庫・非常用発電機・耐震性貯水槽・マンホールトイレ等）

■道の駅プランイメージ

※海側に整備した場合

道の駅を海側の丘に埋め込むことで
まちから海へ 気軽にアクセスできるようになる

道の駅と丘の高さを揃えることで
世界一長いベンチや東西方向のアクセスを維持



宿泊施設

■概要

道の駅と合わせて**通年で利用できる**宿泊施設を整備することで、滞在型観光を促進します。様々な目的で訪れる来訪者が**気軽に宿泊できるコテージ形式の宿泊施設**を想定するほか、**オートキャンプなどの機能を導入**することも視野に入れます。



※生成AIを使用

■主な機能・施設

<宿泊>

- ・ベッド
- ・トイレ・シャワー
- ・冷蔵庫
- ・BBQテラス

<共用部>

- ・受付
- ・売店
- ・ラウンジ
- ・シェアキッチン
- ・コインランドリー

■主なターゲット

富来エリアの食文化や自然、マリンスポーツ等のアクティビティを楽しみに訪れてくれるファン層（**マスターゲット**）の更なる拡大に加え、能登SDGsトレイルやサイクリング、ツーリングを楽しむ人、ペット愛好家など、これまで西能登に訪れても、あまり宿泊していなかった人々（**ニッチターゲット**）を取り込むことを想定します。

マスターゲットの拡大

- 食・文化（山海の幸・祭り）
- 自然（増穂ヶ浦・能登金剛）
- マリンスポーツ

ニッチターゲットの取込

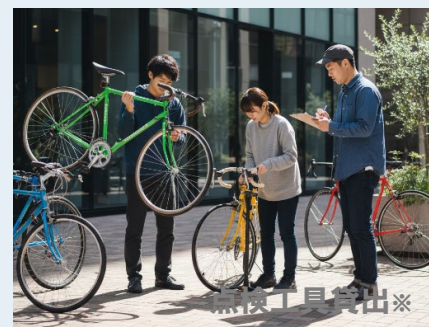
- SDGsトレイル
- サイクリング・ツーリング
- ペット愛好家

トレイルセンター

■概要

トレイルを歩くうえで必要な情報や、「歩く文化」を発信する施設です。また、ハイカーや地域住民、観光で来館された方々がくつろぎ、交流できる空間を提供します。センター内では、のとSDGsトレイル（仮称）沿線の情報展示や、日本国内や世界のロングトレイルに関する書籍を自由に閲覧でき、談話室、売店があるほか、シャワーや洗濯機などの貸出を行います。

また、トレイルだけでなく、**サイクルステーションの機能を導入**することも視野に入れます。サイクリングの途中で気軽に立ち寄ることができるサイクリストのための休憩スポットです。洗面所や水の提供、ポンプや工具の貸出など、サイクリストをサポートします。



※生成AIを使用

■主な機能・施設

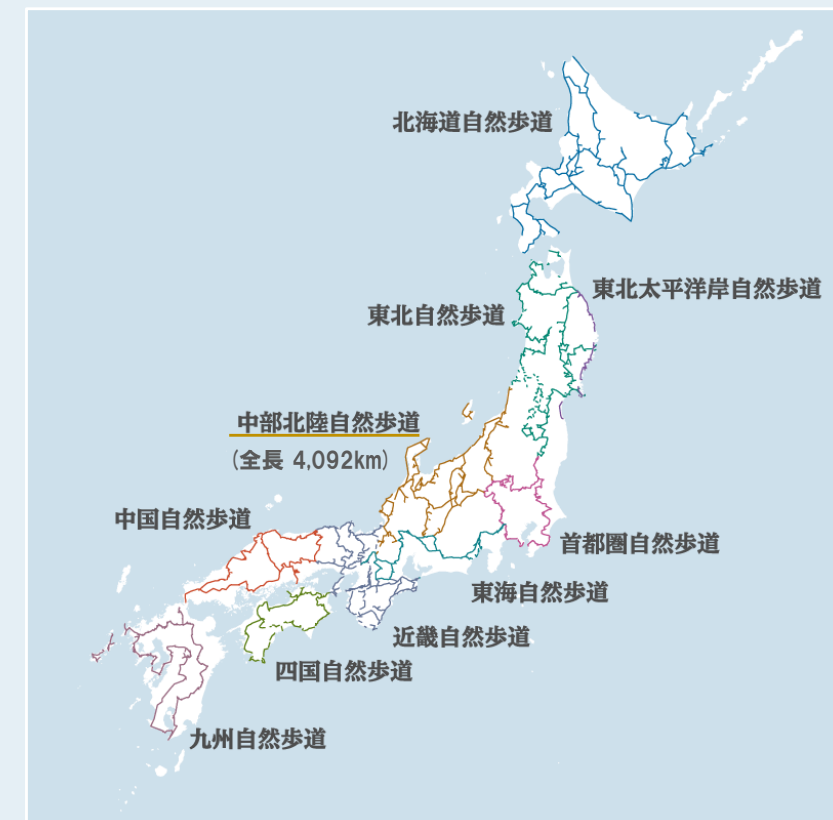
- ・情報案内所
- ・談話室
- ・売店
- ・シャワールーム
- ・洗濯室
- ・サイクルラック
- ・点検工具貸出

（参考）石川県の創造的復興に向けた取組

「のとSDGsトレイル（仮称）」の実施復興の象徴として、海岸隆起などのジオ（大地）的な視点も取り入れながら、能登の豊かな自然や風土に触れ、魅力を体験することができる自然歩道（トレイルコース）を創設し、環境学習の推進や交流人口の拡大につなげます。

出典：石川県HP 石川県創造的復興プラン（令和6年6月 石川県）
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukkyuufukkou/souzoutekifukkousuishin/fukkouplan.html>

（参考）日本全国の長距離自然歩道



出典：環境省HP
<https://www.env.go.jp/nature/nationalparks/pick-up/long-trail/>

ドッグヒル

■概要

目の前に広がる富来の海を眺めながら、愛犬と思いきり走り回れるドッグヒルです。潮風を感じ、波の音を聞きながら、愛犬はのびのびと遊び、飼い主は美しい景色の中でリラックスできます。自然の開放感あふれる「海が見えるドッグヒル」で、最高のひとときを過ごせます。

■主な機能・施設

- ・愛犬がノーリードで過ごせる空間



※生成AIを使用

公園(斜面活用)

■概要

ロングスライダーやクライミング遊具を整備するなど、既存の丘の斜面を活かした公園です。観光客も地域住民も利用することができます。

■主な機能・施設

- ・ロングスライダー
- ・クライミング遊具



※生成AIを使用

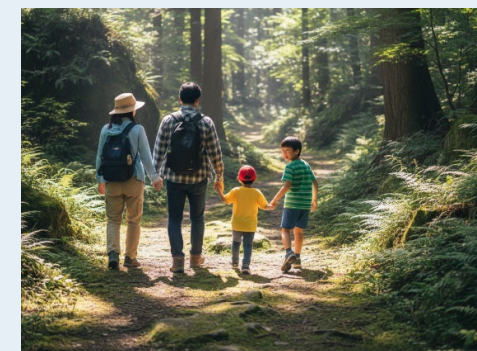
散策コース・林間アスレチック

■概要

現在、海側の丘は鬱蒼とした森になっているため、新たに散策コースや林間アスレチックを整備することで、道の駅周辺エリアの回遊性を向上し、エリア全体の魅力を高めます。

■主な機能・施設

- ・散策コース
- ・アスレチック遊具



※生成AIを使用

民間活力導入エリア

■概要

観光・交流・体験の質を高めるためには、民間活力の導入も重要です。以下に民間活力導入事例を示します。

例) アウトドアメーカーとの連携

アウトドアメーカーと連携することで、多様で質の高いアウトドアアクティビティ体験ができるようになるため、自然豊かな富来エリアの魅力を更に存分に感じることができるようになります。



出典：道の駅越前おおの荒島の郷 HP
<https://arashimanosato.com/facility-out/>

4. リニューアル基本計画 (案)

骨格となる考え方: 2つの軸と回遊ルート

○海とまちをつなぐ生活軸

観光客がとぎらしさを感じられ、地域住民が誇りに思えるような空間とする

○能登半島を巡る交流軸

トレイル・サイクリングなど、能登半島周遊観光の拠点エリアとなることを考慮した空間とする

○道の駅周辺を巡る回遊ルート

既存の周辺施設を含め、魅力あるスポットやアートをつなぐ回遊ルートを設けることで歩きたくなる空間とする

道の駅周辺を巡る回遊ルート
(滞在快適性が高い歩行者のためのみちづくり)

能登半島を巡る 交流軸
(トレイル・サイクリングなど)

海とまちをつなぐ生活軸
(富来ならではの景観を創出)

← 増穂浦リゾートエリア・ヤセの断崖・輪島市

巖門・福浦灯台・羽咋市 →



4. リニューアル基本計画 (案)

道の駅とき海街道周辺再整備事業 リニューアル基本計画

機能配置の方針

様々な目的で訪れる来訪者が気軽に宿泊できる
コテージ形式の宿泊施設をゆとりある敷地に配置

トレイルセンター・サイクルステーションは、
民間活力導入も考慮して、好立地に配置

復興公営住宅
(予定地)

宿泊施設

散策コース・林間アスレチック

エリアの回遊性向上や、世界一長いベンチの全面活用のために、
公園(斜面活用)やドッグヒル、散策・林間アスレチックを丘沿いに配置

海とまちをつなぐ生活軸

復興公営住宅

ゲンキー

消防署

富来活性化センター

フレア

アート

アスク

多目的広場

公園
(斜面活用)

駐車場

ドッグヒル

アート

ファミリーマート

駐車場

アート

民間活力
導入エリア

トレイルセンター

道の駅

サイクルロード

アート

RVパーク

トレイルコース

商店街

国道249号(能登半島絶景海道)
能登半島を巡る交流軸

厳門・福浦灯台・羽咋市

道の駅は、増穂の海や夕日を眺めながら過ごせる、
富来ならではの空間を提供できる位置に配置

0m 50m 100m 200m 300m 400m 500m

Google Earth

Image © 2025 Airbus

200 m



4. リニューアル基本計画 (案)

道の駅とき海街道周辺再整備事業 リニューアル基本計画

エリアの利用イメージ

